



開校明治七年  
開校147年目

# 宗岡小だより

学校教育目標

よく考える子 思いやりのある子 心も体も元気な子

基本理念「自分がすき 友だちがすき 町がすきな 宗小の子」

## めざす学校像

「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」  
「安全・安心できれいな学校」

令和3年10月号

志木市立宗岡小学校

児童数 452名・学級数 18学級

住所 志木市中宗岡3-1-1

TEL 048-471-0307

## 10月の生活目標

学習にうちこもう

- ・学習のきまりを守る
- ・自分からすすんで学習に取り組もう

## 塙保己一から学ぶ

校長 石田 賢一

夏休み開始時期から猛威を振るっていた新型コロナウイルス「デルタ株」も9月中旬以降は全国的に新規感染者数が大幅に減少してきています。宗岡小学校では、二学期開始から3週間の期間、新型コロナウイルスに新規に感染した児童は0でした。これは、児童一人一人がマスクの着用や手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保などの感染防止に取り組んでくれたおかげです。また、それ以上に各ご家庭で毎日の検温や体調管理を徹底していただいたおかげだと考えております。新型コロナウイルス感染状況は落ち着きつつありますが、ウイルスがなくなるわけではありません。今後も今までと同様のご対応をお願いいたします。

さて、今月の生活目標は「学習にうちこもう」です。皆さんは埼玉の三大偉人の一人である「塙保己一（はなわ ほきいち）」をご存じでしょうか。塙保己一は盲目の国学者で大文献集「群書類従（ぐんしょるいじゅう）」666冊をはじめ、散逸する恐れのある貴重な文献を校正し、次々と出版していきました。また、世界的な偉人であり奇跡の人とよばれたヘレン・ケラーは昭和12年（1937年）に来日し、埼玉会館での講演会で「私は特別の思いをもって、埼玉にやってきました。それはつらく苦しい時でも、この埼玉ゆかりの塙保己一先生を目標に頑張ることができ、『今の私』があるからです。」と語っています。



塙保己一とはどのような人物だったのでしょうか。塙保己一は、延享3年（1746年）に現在の埼玉県本庄市児玉町保木野に生まれました。7歳のときに病気のため目が見えなくなり、15歳の時に江戸に出ました。最初は、当時の盲目の人たちが生業としていた鍼灸や按摩の修行をしていましたが、元来の学問好きだった塙保己一は師匠である雨富検校に学問の道に入ることを許され、歌学や神道を学ぶことになりました。塙保己一は目が見えないため本が読めないというハンデがありましたが、一度聞いた話は忘れないという抜群の記憶力を生かして多くの知識を身に付けました。34歳の時に「学問をしたい人はだれでも、いつでも、どこでも必要な書物が読めるようにしてあげたい。先祖から託された日本の文化を絶やすことなく、しっかりと次の世代に伝えていきたい・・・これこそ自分に与えられた使命だ」と決意し、先程説明した「群書類従」の編纂を始めました。34歳から始めた「群書類従」は、塙保己一が74歳の時に完成しました。目が見える人であっても成し遂げることが困難な大事業を完成できたのは、「後世の人たちに、日本人の宝物である古来の精神文化を絶やすことなく伝えていきたい」という熱い思いでした。どんな困難な条件のもとでもくじけることなく一途に自分の道を進んだのです。

塙保己一が素晴らしいのは、彼が盲目でありながら666冊にもなる「群書類従」を編纂したことです。ありますが、一番は自分自身の興味関心がありやってみたくことを最後まであきらめず取り組み続けたことだと考えます。

宗岡小学校の子供達にもこの郷土の偉人である塙保己一のように自分自身の興味関心があることを最後まであきらめずに取り組むことができる人になってほしいと思います。しかし、まだまだ幼い子供達は自分の生涯にわたって興味関心を持つことができることが何かを見つけることはとても難しいことです。今学校で学習している多くのことの中から生涯にわたって自身が取り組むべき何かのヒントを発見してくれることを大いに期待しています。

是非ご家庭においても、大人目から見ると「これで大丈夫なのかな」と感じてしまうこともあるかもしれませんが、お子様が興味関心をもち取り組んでいることについてはサポートしていただければと思います。子供達が「学習にうちこむ」ために必要なのは、本人の興味関心と周りのサポートだと考えます。子供達が楽しく主体的に学習に取り組むために学校においては分かりやすく子供達の知的関心を高める授業を展開いたします。ご家庭においては、学習に取り組む子供達への応援を是非お願いいたします。